

建築研究所ニュース



平成 26 年 10 月 31 日

建築研究資料 No.163「アスベスト含有建材の劣化時および除去工事時におけるアスベストの飛散性に関する調査報告書」の公表について

この度独立行政法人建築研究所では、建築研究資料「アスベスト含有建材の劣化時および除去工事時におけるアスベストの飛散性に関する調査報告書」をとりまとめ、ウェブサイトに掲載しましたのでご案内致します。

平成 17 年にアスベストによる健康被害が改めて社会問題となったことから、建築分野においては、吹付けアスベスト等（吹付けアスベスト、アスベスト含有吹付けロックウール）の使用が規制されるなどの措置がとられました。一方で、当時、吹付けアスベスト等以外のアスベスト含有建材についてはアスベスト繊維の飛散性等に関して十分な知見がなく、調査研究を行うことが必要とされました。

このような背景から、国土交通省の建築基準整備促進事業において、劣化時および除去工事実施時等のアスベスト含有建材からのアスベストの飛散性について調査が行われました。本資料は、平成 20 年度から 25 年度の 6 年間にわたり、同事業に採択された事業主体が独立行政法人建築研究所との共同研究で実施した調査の結果をとりまとめたものです。

多数の建築物において同一の方法で調査を行った貴重な資料であり、今後のアスベスト対策においてこれらの調査結果が活用されることを期待しています。

ダウンロードURL

<http://www.kenken.go.jp/japanese/contents/publications/data/163/index.html>

(内容の問合せ先)

独立行政法人 建築研究所
所属 材料研究グループ
氏名 棚野博之 (たなのひろゆき)
電話 029-864-6610 (直通)
Fax. 029-864-6772
E-mail tanano@kenken.go.jp

建築研究資料 No.163

「アスベスト含有建材の劣化時および除去工事時における アスベストの飛散性に関する調査報告書」

目次

1. はじめに
2. 調査体制
3. 調査概要
4. アスベスト繊維の飛散性調査
 - 4.1 本調査における調査対象アスベスト含有建材について
 - 4.2 調査対象の確保について
 - 4.3 調査対象建材の劣化の判断について
 - 4.4 建材のアスベスト含有率測定方法
 - 4.5 調査対象建材が使用された居室等におけるアスベスト繊維数濃度測定条件
 - 4.6 調査対象建材が使用された居室等におけるアスベスト繊維数濃度測定方法
 - 4.7 分析機関の選定
 - 4.8 調査・分析結果
 - 4.9 アスベスト繊維の飛散性について
5. まとめ

[参考資料]

- [参考1] 測定・分析結果概要
- [参考2] 石綿障害予防規則 第3条第2項に基づく事前調査における石綿分析結果報告書（証明書）
- [参考3] 石綿障害予防規則 第3条第2項に基づく事前調査における石綿分析結果報告書（証明書）（吹付けパーミキュライト用）
- [参考4] 気中濃度測定結果報告書
- [参考5] 分析機関選定資料
- [参考6] アスベスト含有建材の劣化状態
- [参考7] アスベスト含有煙突断熱材の劣化状況およびアスベストの飛散性に関する考察
- [参考8] 社整審アスベストWGの指摘を受けた平成25年度の検討および調査